

ノリ養殖環境速報 KH-29-15 (播磨灘)

平成30年3月26日 発行

※平成29年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

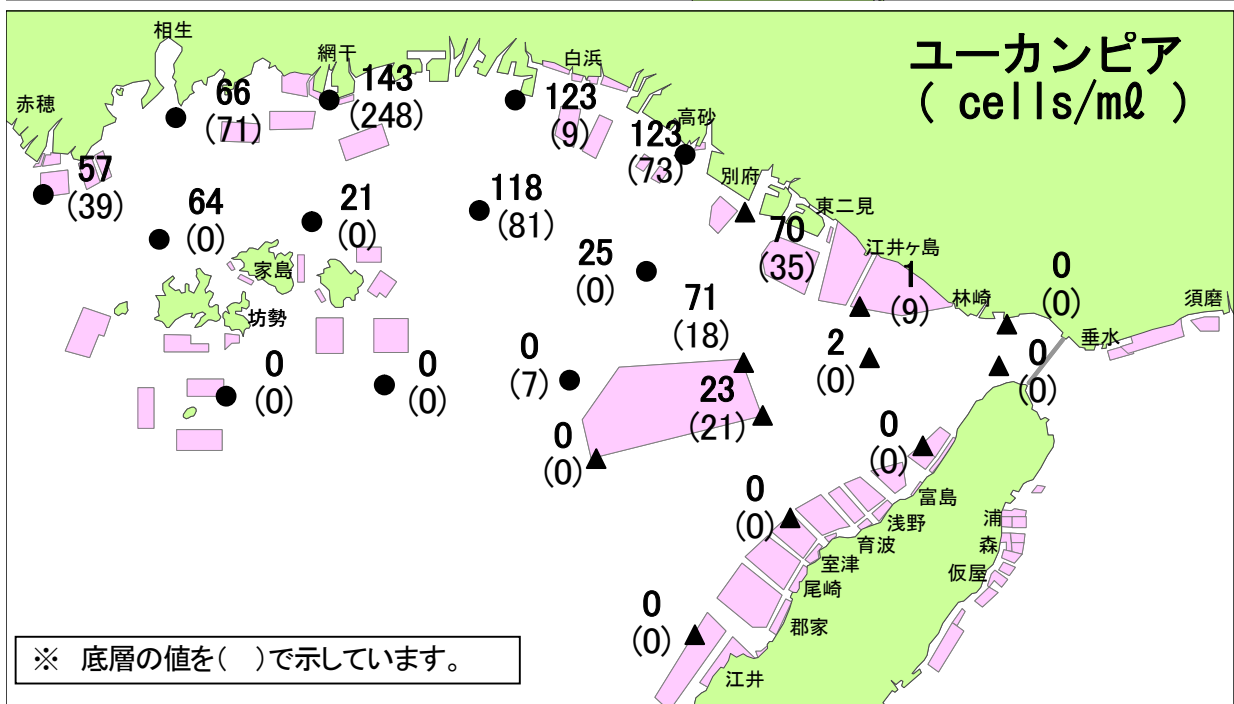
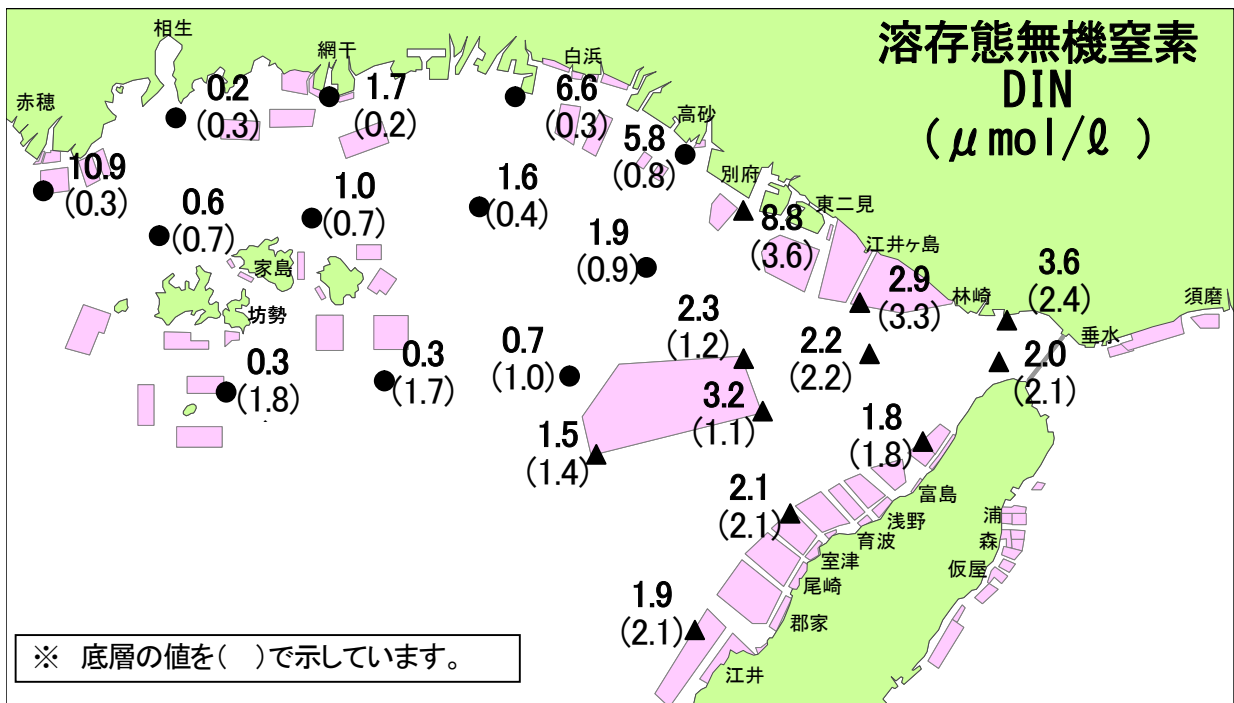
調査年月日：3月22、23日

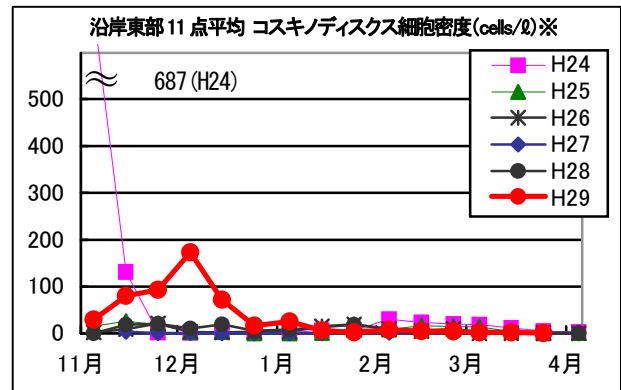
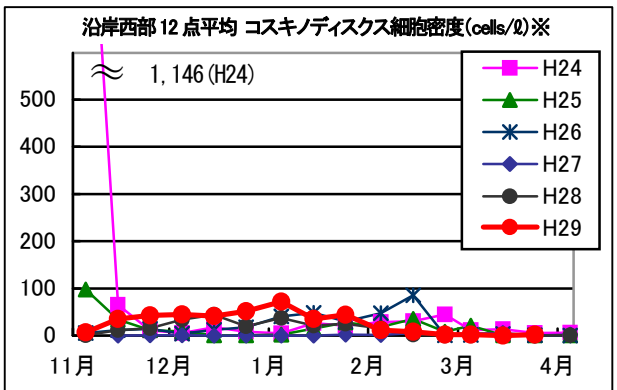
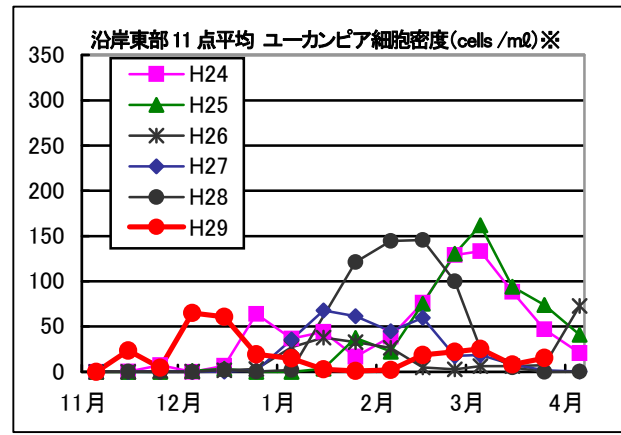
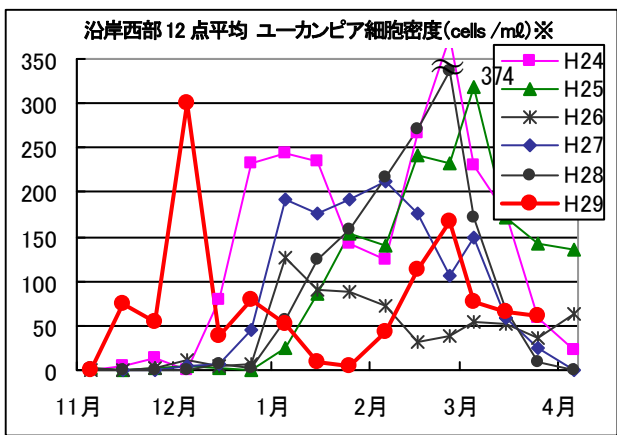
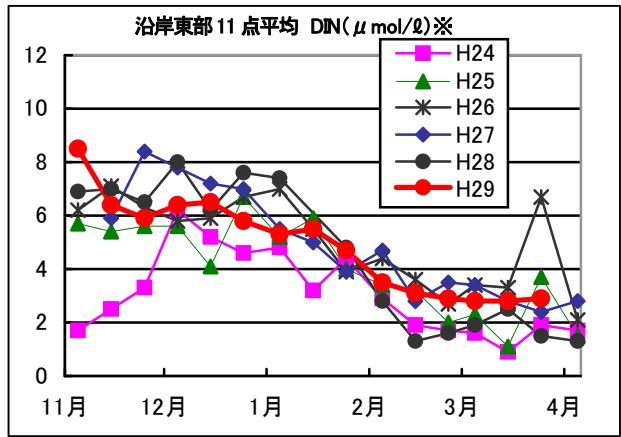
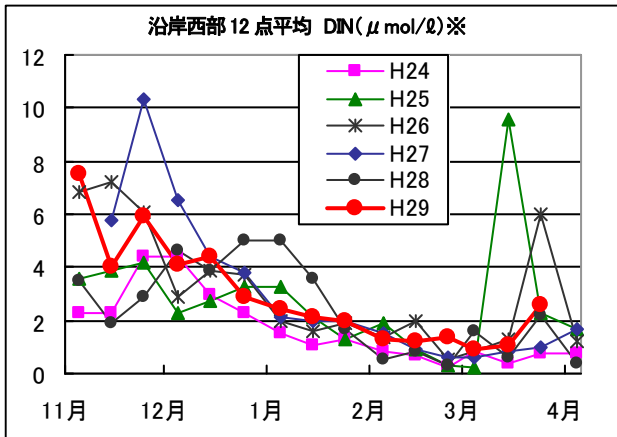
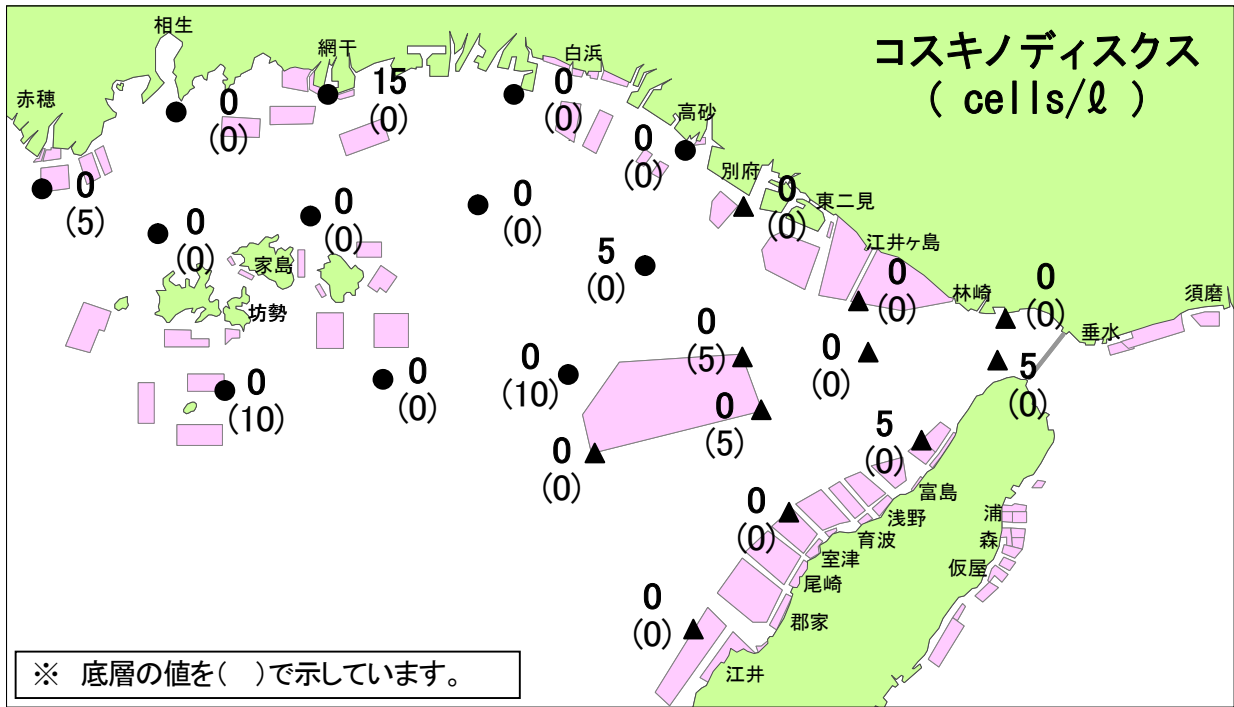
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、北部沿岸河口域表層では、河川水等の影響により前回の調査時より上昇しており、東部海域では概ね $2\mu\text{mol/L}$ 以上となっています。

大型珪藻のユーカンピアは北部沿岸域で多く確認されています。コスキノディスクスワイレシーは散見される程度です。

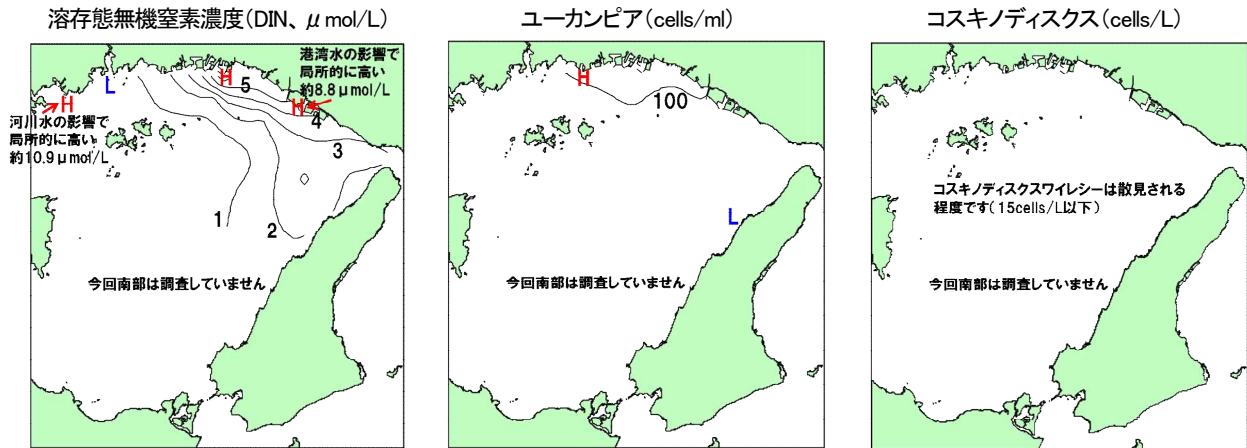
水温は、白浜以西では $9.5\sim 10.2^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では $9.0\sim 9.5^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $8.8\sim 9.5^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $9.2\sim 9.7^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $8.9\sim 9.3^{\circ}\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年3月22、23日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部沿岸（加古川～姫路）では、前回の調査時に引き続きユーカンピアゾディアクスが多く出現しています。コスキノディスクスワイレシーは散見される程度です。

播磨灘北部沿岸域河口域表層の DIN 濃度は、河川水等の影響により、前回の調査時よりも上昇しています。また、東部海域の DIN 濃度は、概ね $2 \mu\text{mol/L}$ 以上を維持しています。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年より少ないとされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、低下傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁 3月25日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間（3/26～4/1）の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。

最高気温は、平年より高く、かなり高い日が多い見込みです。最低気温は、平年並か平年より高いでしょう。

降水量は、平年より少ない見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査結果は2/28 から更新されていません。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。
- ・次回は平成30年4月5日頃に発行予定です。

*この情報は、ホームページでも見いただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。

<http://www.hyogo-suigi.jp/>